

受 理 番 号	陳 情 第 4 号	件名	国に「消費税のインボイス制度廃止の意見書」提出を求める陳情書
受理年月日	7. 8. 8		
陳 情 者			

【要旨】

消費税のインボイス制度廃止を求める意見書を国に提出してください。

【理由】

7月の参議院選挙では、物価高対策が最大の争点となり、消費税減税とインボイス制度を廃止するよう訴えた政党が得票・議席数とも多数となりました。消費税減税とインボイス制度の廃止を求める民意は明確です。

依然として続く物価高の中で、賃上げ圧力が強まり、人手不足が広がる中で小規模企業の倒産が増加しています。こうした厳しい状況に拍車をかけているのがインボイス制度です。

インボイス制度の実施によって、本来消費税の納税が免除される売上高 1,000 万円以下の小規模事業者やフリーランスが消費税の納税義務を負わされ、その負担に苦しめられています。インボイス発行に伴う実務だけでなく、発注者による取引排除や値引きの強要など不公正な取引も後を絶ちません。

令和 6 年 12 月埼玉県議会では、「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止等を求める意見書」が可決され、県内市町村においても 12 自治体での請願採択、9 自治体から国に意見書が提出されています。全国ではこの半年で意見書採択が 30 自治体を突破しました。

小規模事業者の経営の持続化や地域経済の活性化の重要性を考えると、インボイス制度そのものを廃止することが最良の策であると言わざるを得ません。

よって、地方自治法第 99 条の規定に基づきインボイス制度廃止の意見書を国に対して提出することを求めます。

上記のとおり陳情いたします。